

---

# 地域生物多様性増進法に基づく 自然共生サイトの認定について (令和8年度第1回)

---

2026年6月



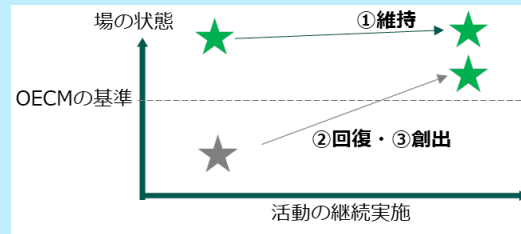
# 地域生物多様性増進法に基づく「自然共生サイト」について

- 環境省では、**民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を「自然共生サイト」として認定**する仕組みを令和5年度に開始（従前制度）。
- **ネイチャーポジティブに向けた民間等の活動をさらに促進**するため、自然共生サイトを法制化した「**地域生物多様性増進法**」が令和7年4月に施行。自然共生サイト相当の**生物多様性が豊かな場所を維持**する活動に加え、管理放棄地等において**生物多様性を回復・創出する活動**も認定の対象に。
- 従前制度における認定も含め、**令和8年6月末時点での自然共生サイトは合計610か所**。
- 申請主体は**企業が約半数**で、地方公共団体やNPO等様々な主体が参画。

## ＜自然共生サイトの経緯＞

2020年 12月	検討開始
2022年 4月	30by30ロードマップ公表
12月	昆明・モントリオール生物多様性枠組（30by30目標含む）採択
2023年 4月	自然共生サイト制度の開始
10月	自然共生サイトの初認定
2024年 4月	地域生物多様性増進法成立
2025年 4月	地域生物多様性増進法施行
9月	令和7年度第1回認定（法に基づく初認定）
2026年 6月	令和8年度第1回認定

## ＜新法のポイント＞

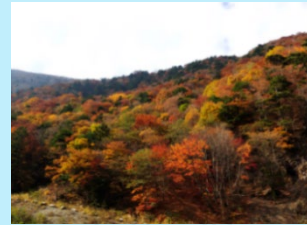


- ①維持については自然共生サイト相当の活動（申請時点でOECMの基準を満たすもの）を想定。
- ②回復及び③創出については、活動計画の実施を通じて、将来的にOECMの基準を満たすような場所となるような取組を想定。

## ＜認定された「自然共生サイト」の例＞



盛岡セイコー工業 わくわくの森・わくわくトープ（岩手県）



日本製紙 鳳凰社有林（山梨県）



コウノトリ育む祥雲寺水田とピオトープ（兵庫県）



つくばこどもの森保育園（茨城県）



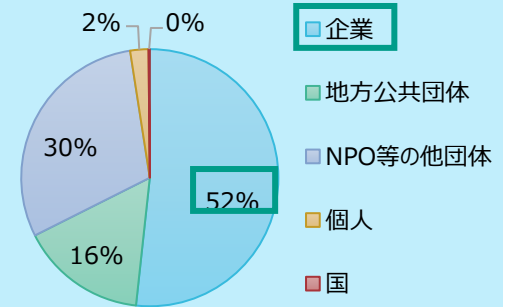
三井住友海上駿河台緑地（東京都）



山川の海のゆりかご（鹿児島県）

## ＜申請主体の内訳＞

※令和5年度からの累計



## ＜各地での認定証授与式の様子＞



# 令和8年度第1回自然共生サイト認定について（1）

- **令和8年6月30日**に、**令和8年度第1回認定**として、同法に基づき、**55か所の「増進活動実施計画」**及び**1か所の「連携増進活動実施計画」**の計**56か所**を**主務大臣が認定**。
- 従前制度における認定も加えて、令和8年度第1回認定までに**610か所を認定**。

## <従前及び法定自然共生サイトの内訳>

	従前の自然共生サイト（～令和6年度）		法定自然共生サイト（令和7年度～）	
～令和6年度	328か所、9.3万ha	－	－	－
令和7年度	(法定外202か所、8.1万ha)	(移行分126か所、1.2万ha)	新規241か所、2.3万ha	
			計367か所、3.5万ha	
令和8年度第1回	(法定外187か所、6.3万ha)	(移行分15か所、1.8万ha)	新規41か所、0.3万ha	
			計56か所、2.1万ha	
自然共生サイト合計	(法定外187か所、6.3万ha)	(移行分141か所、2.9万ha)	新規282か所、2.6万ha	
			計423か所、5.5万ha	
	<b>610か所、11.9万ha</b>			

## <認定された自然共生サイトの例（令和8年度第1回）>



鶴居・西武の森  
(北海道)



江の島里海保全サイト  
(神奈川県)



プラスランド  
(群馬県)



サンバの里自然学校  
(栃木県)

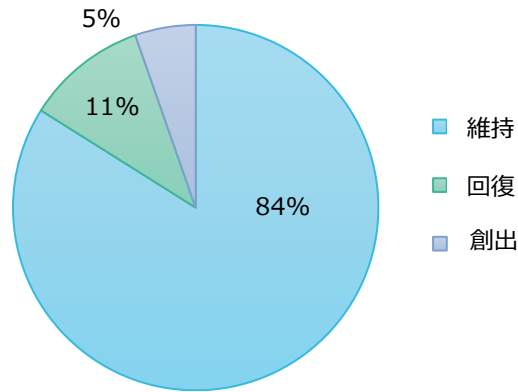


朝見の条里水田  
(三重県)

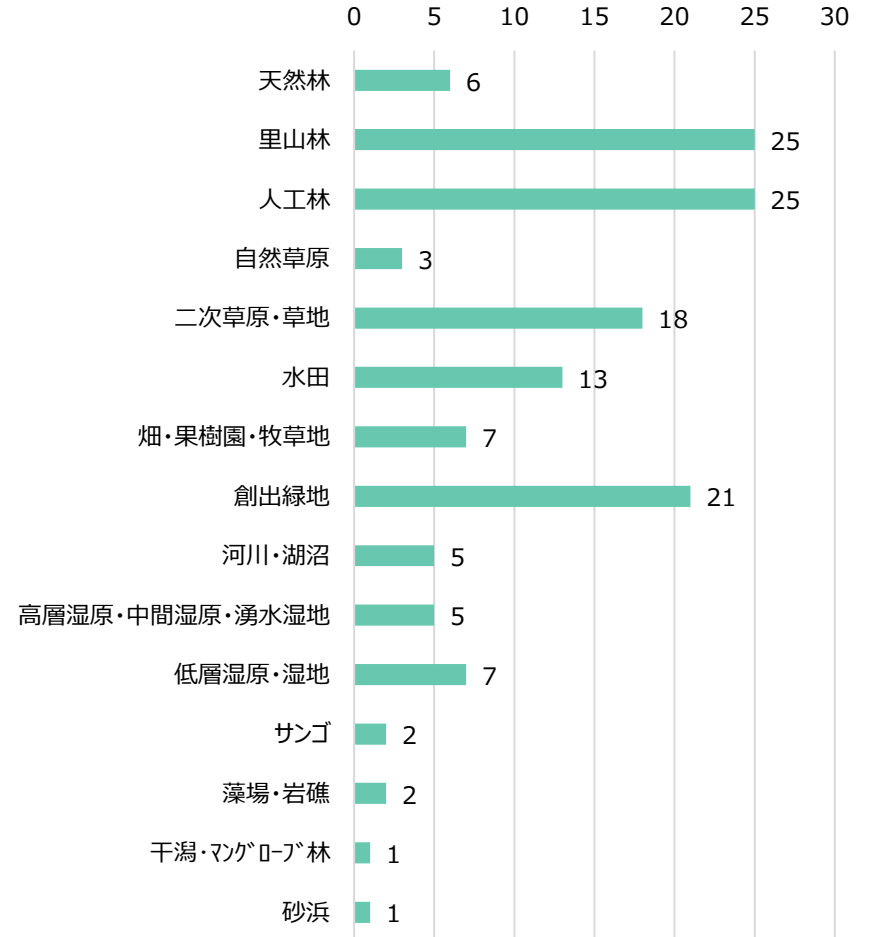
# 令和8年度第1回自然共生サイト認定について（2）

- **55か所の「増進活動実施計画」のうち維持タイプ47か所、回復タイプ5か所、創出タイプ3か所及び1か所の「連携増進活動実施計画」のうち回復タイプ1か所を認定。**
- **里山林や人工林、都市の緑地など身近な自然環境について多く認定。**
- **企業からの申請が約半数**で、NPO、教育機関、地方公共団体など様々な主体が参画。

< 類型別の認定数（令和8年度第1回） >



< 生態系タイプ別の認定数（令和8年度第1回） >



< 申請主体別の認定数（令和8年度第1回） >

